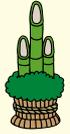


NAGASAKI



看護連盟だより

2011
新春



あけましておめでとらございます



目次

長崎県看護連盟会長挨拶.....	2	50周年記念行事 祝賀会.....	7
長崎県看護連盟名誉会長挨拶.....	3	長崎県看護連盟のあゆみ.....	8
日本看護連盟会長挨拶.....	4	南野知恵子先生叙勲.....	10
高階恵美子参議院議員挨拶.....	4	南野知恵子先生の活躍.....	11
50周年記念行事 記念講演.....	5	お知らせ・編集後記.....	12
50周年記念行事 式典.....	6		



明けまして おめでとうございます。



長崎県看護連盟会長 金澤 きみ代

昨年の第22回参議院選挙においては、皆様からの多大なご協力、ご支援をいただき、誠にありがとうございました。皆様のお陰をもちまして、上位当選させることができ、無事に新春を迎えることができました。

会長職に浅い私にとって、選挙ははじめての経験であり、選対本部長（名誉会長）の意見を聞きながら無我夢中で活動しましたが、まだまだ不足が多かったと反省しています。途中の票読みも甘く、予想の8割しか獲得できませんでした。しかしながら、今回の反省点は次に繋げられるような学びとなっていたのは事実です。

看護界には課題、問題が山積みです。特定看護師の法制化、職場環境、中でも看護職労働条件の改善、離職、新人看護職員研修のさらなる充実など、これらの課題・問題を解決するためには、看護の代表を国政に送り続ける必要があります。その意味からも、今回の高階恵美子先生の政界進出の意義は大きかったと思います。高階恵美子参議院議員には、国民のための必要な社会保障のしくみを提案し、その実現のために行動していただき、私たちが安心して暮らせる社会を作っていただけることを期待いたします。

長崎県における課題・問題は、県北地区の看護教育大学化を含めた看護の質向上、看護職の確保定着などがあります。長崎県看護協会と連携・協力を図りながら長崎県看護連盟の役割を果たしていく予定です。

今年は、卯年です。飛び跳ねることも必要でしょうが、地に足の着いた活動をやっていこうと考えています。会員一人ひとりに看護連盟の必要性を十分にわかっているため活動に力を入れていきます。特に、施設代表者、20代から30代の若い看護師への啓蒙活動を実施予定です。また同時に、会員外の方、地域住民へ、看護連盟活動の協力および普及に向けた活動も実施していく予定です。

今年も役員一丸となって頑張りますので、変わらぬご支援をどうぞ宜しくお願い致します。





卯の年に思いを寄せて



長崎県看護協会・長崎県看護連盟名誉会長 山口 ミユキ

謹んで初春のおよろこびを申し上げます。それぞれのお立場で新年をお迎えのことと拝察致します。

激動社会の中で、ふと思い出す、戦前、戦時、戦後の三代を、あらゆる苦難を乗り越えて生き抜いたいま、脳裏に宿る言葉「欲しがりません勝つまでは」は、日支事変の頃、小学生であった。誰が見ても、抱きたくなる、かわいい白兔の毛皮を、厳寒の北支方面に派遣された兵士へ、防寒服に必要として重宝されたものである。その白兔の飼育は子供の役割として、好物とする^{ちくさ}干草を、春夏秋冬、道端や、田圃のあぜ道で刈り取り、育てるのが日課であった。

ふりかえれば、軍用兔として、人間も動物も、日本国のために共存していることがよみがえる。激動社会の中でも、平和な日本国のいま、愛玩用とされる白兔に一人の思い出が懐かしくよみがえる。

いよいよ幕開け、平成23年、昨年^{しんねい}の連盟活動の重点項目であった第22回参議院選挙、看護界代表、高階恵美子先生の勝利に向けて、ぶれない、動じない、本気、やる気、根気、「信念こそ我が勝利」を念頭に、全国に打ち鳴らした、あの長崎県看護連盟応援団の太鼓の響きに加え、ツベコベ云うな、看護は一つの旗印のもとで、日本看護協会、日本看護連盟、会員の大同団結と、これまでの看護を高く評価していただいた地域社会からの大きな支援のもとで得た勝利は、実にさわやかであった。このさわやかな勝利は「石の上にも3年、重ね積み重ねて50年」、長崎県看護連盟活動は歴史で知ることができる。過去の歴史をふりかえり、これからの活動が戦時のとき一躍担ったウサギと共に、日本国国家、国際社会が平和でありますように願って止まない次第であります。

看護連盟活動は先ず健康から、健康で「ベッドサイドから政治を変える」ことができる。高階恵美子先生が安心して政務にご専念できるため、看護は一つ心合わせて前進しましょう。

長崎県看護連盟、さあー、創立60周年に向けて、会員仲間同志の益々の健康とご活躍、併せてご多幸を祈念して、卯の年に寄せるごあいさつと致します。

- 平成23年お正月、統一地方選挙の年 -



新年のごあいさつ



日本看護連盟 会長 清水 嘉与子



長崎県看護連盟会員の皆様、明けましておめでとうございます。
昨年7月の政権交代後初の国政選挙となった参議院選挙では、見事高階恵美子参議院議員を誕生させることができました。会員の皆様のご活躍によるものと感謝申し上げます。

世界一の長寿国になったのは有難いことですが、安心して老後が送れるかということ、年金にしろ、医療や介護にしろ問題山積です。医療の高度化・専門化はさらに進む一方、在院期間はどんどん短くなります。医療を受ける場は病院だけではなく、在宅に地域にと広がっています。これまで高度急性期病院に集中して看護師を集中させてきた看護政策は大きな転換期を迎えているといえます。在宅ケア、看取りの看護・・・これまで手薄になっていた分野で看護職の持てる能力を生かす政策の充実が急務です。いまこそ国政の場での看護代表の活躍が必要な時です。私達が国会に送り出した阿部衆議院議員、高階参議院議員の一層の活躍を期待して、温かく見守ってくださいますようお願い申し上げます。



参議院議員 高階 恵美子



長崎県看護連盟の皆様、新年明けましておめでとうございます。看護連盟の皆様におかれましては輝かしい新春をお迎えのことと存じます。

昨年7月に行われた参議院議員選挙では、初当選を果たすことができました。皆様の熱い思いに支えられ、また、温かな励ましをいただき、常に前へ前へと進むことができました。これも、共に活動を日々積み重ねてくださった、お一人おひとりの会員皆様のおかげでございます。

引続き「やりがい、いきがい」をキャッチフレーズに、日々現場の声を大切に、看護に関する諸課題をはじめ、社会の生きる力を創り出す仕事に全力で取り組んでまいります。

本年も、ご支援、ご指導をよろしく願いいたします。

長崎県看護連盟 創立50周年記念行事

平成22年10月30日

1 記念講演

健康を増進し安心して安全に働ける社会をめざして
看護の力を国政へ

講師 参議院議員 高階恵美子 先生



一人で何をしようか困った方は、ともに話すことから始めませんか。私はまず、話の通じる仲間をつくることが重要と思うのです。選挙の際には、各地を回り多くの方から応援をいただきました。地域の中には高階個人ではなく、‘看護’を応援してくださる方々もたくさんいることを知りました。こうした声を聞いたときに、暮らしの身近なところでいざという時に手を差し伸べてくれる存在があるという安心感が、人々にとってなにより頼りになっているのだということを強く感じます。

すでに私は、自民党の政務調査会の一つである厚生労働部会の下で看護問題小委員会の勉強会を始めました。厚生労働部会は副部長、その一部である看護問題小委員会でも副委員長として運営に携わせていただくこととなりましたので、さっそく企画した次第です。法案提出をにらんで、「穏やかな最期を保証するコミュニティづくり」というテーマを設定し、月に1～2回の頻度で密度の濃い議論を交わしています。

みなさまの笑顔とその裏に隠された鍛錬の歴史が、私の活動の原動力です。これからも精いっぱいがんばります。引き続き、ご支援賜りますようお願い申し上げます。



受賞 おめでとうございます!

2 記念式典

表彰



会長より荒木宣代氏へ



看護職OB代表者他の皆様



元役員表彰の皆様

特別表彰



会長から山口ミユキ氏へ



有江和子氏、江頭夕工子氏

感謝状

(自民党 長崎県連会長より)



来賓祝辞



北村誠吾衆議院議員



谷川弥一衆議院議員



中村法道長崎県知事



田上富久長崎市長



日本看護連盟 竹澤常任幹事



長崎県看護協会 小川副会長

3 記念祝賀会



祝吟
横田ツヤ子氏



長崎ぶらぶら節 長崎市婦人会



万才 日精看 今里幹事

活動の実績



平成12年竣工 ながさき看護センター



平和を願うハトのリトグラフ (玄関ホール)



長崎県看護連盟の3本柱



平成11年 開学

長崎県看護連盟の あゆみ



会 長 金 澤 きみ代

会員数 5,643名 (平成22年11月現在)

事務所 諫早市永昌町23 6 ながさき看護センター内

日本看護連盟長崎県支部創立 昭和35年 9月

沿革

昭和35年 9月、松尾カチ氏が初代支部長に就任、会費は100円で発足した。

昭和38年当時は会員数約1,300余名であったが、昭和40年に協会通常総会が長崎市で開催され同年石本しげる氏選挙もあったことから意識の向上が図られ、昭和45年に2,000名に達し、現在5,600名を超えている。会費はその後の改訂により現行6,000円である。

支部事務所は支部長自宅に置くことが通例であったが、昭和47年に県看護協会内に移転した。

昭和53年より支部主催でチャリティーバザーを行っており、収益の一部を寄付している。

昭和57年の長崎大水害や平成3年の雲仙岳噴火被災に際しては、見舞いを本部・各県支部から多数いただき、本部からは宮田前会長・有田会長他役員の見舞来県・激励を頂き、感謝の意を表す。

歴代支部長

- 昭和35・36年 松尾 カチ
- 38・39年 大久保キミヨ
- 40・41年 村田多恵子
- 42～47年 山口ミユキ
- 48～51年 辻 ノブ
- 52～55年 大渡マツエ
- 57年 松尾スエコ
- 59年～平成16年 山口ミユキ
- 平成17年 看護連盟リフォームで「長崎県看護連盟」会長に変更
- 平成17年～19年 山口ミユキ
- 20年 高山みつぎ
- 21年～ 金澤きみ代

(昭和37年・56年・58年は支部長不在)



平成2年

平成2年

主な事業

1、研修会等

平成11年組織変更を（県南・県央・県北・離島）の4地区に、平成17年規約の改正で「長崎県看護連盟」へ名称変更し、会員意識の浸透を図るべく、時期に応じた講師に依頼し、研修会を実施した。

19支部それぞれにミニ研修会を含め、年に50～200回の研修会を実施している。



平成14年

2、後援会活動

後援会名簿づくりから始まり活発な活動を展開した。

- 平成2年 清水嘉与子参議院議員当選
- 4年 南野知恵子参議院議員1位当選
- 7年 清水嘉与子参議院議員上位当選
- 10年 南野知恵子参議院議員当選
- 13年 清水嘉与子参議院議員当選（県 7,642票）
- 16年 南野知恵子参議院議員当選（県 5,993票）
- 19年 松原まなみ氏落選（県 6,694票）
- 22年 たかがい恵美子参議院議員当選（県 8,600票）

本気・やる気・根気の心で一丸となり活動した。



平成7年

3、職域支部活動

自由民主党県連での活動

県・市の4師会（医師会、薬剤師会、歯科医師会、看護師会）

日本精神科看護技術協会

県理学療法士会

地域の婦人会 等の協力を得て活動



平成14年

4、その他

県北に4年制大学の設置を要望

看護職の副院長登用

長崎県看護連盟創立50周年記念事業

若手会員教育のためポリナビ特別委員会発足

連盟OB会の立ち上げ

広報誌の変更「連盟便り NAGASAKI」



平成13年

南野知恵子先生

旭日大綬章 おめでとうございます

= プロフィール =

- 昭和10年 旧満州チチハルに生まれる
- 昭和21年 終戦後、日本へ引き揚げ 佐世保港へ到着
その後、鹿児島へ移る
- 昭和29年 「人間と関わりを持つ仕事」をめざし
国立鹿児島病院附属看護学校入学
- 昭和38年 国立大阪大学医学部附属助産婦学校卒業後、イギリスへ留学
- 昭和44年 ~ ・国立大阪大学医療技術短期大学講師
・東海大学病院看護部次長
・国立大阪大学医療技術短期大学教授
・国立山口大学医療技術短期大学教授
・日本赤十字看護大学教授
“学生と同じ目線で教育していくこと”を方針に昭和63年まで講師をつとめる
- 平成3年 日本看護協会会長より立候補の依頼を受け、“看護の窓を通して社会の実態を知り、多くの方々と出会い共通の話題を知る”ことを目的に全国を歩く
看護の道から政治の道へ
- 平成4年7月 第16回参議院議員選挙当選

その後2度の当選を果たし、3期(18年間)議員をつとめ、平成22年7月退任へ



= 大好きな桜の花をイメージした礼装 =



平成15年



南野知恵子先生 ありがとうございました

主な活動

- 平成4年 看護師等人材確保法
- 平成5年 保助看法一部改正 「保健師」の誕生
- 平成6年 クロアチア議員連盟
- 国際平和を願って -
- 平成7年 高齢社会対策基本法案成立
- 平成8年 労働安全衛生法一部改正
「産業保健師」の誕生
- 平成9年 介護保険法成立
臓器移植特別委員会
学校図書館法一部改正
- 平成10年 学校教育法改正
看護専修学校の卒業者に大学編入の道
が開かれる
- 平成11年 男女共同参画基本法成立
- 平成13年 保助看法一部改正
看護職の名称「師」で統一

役 歴

- 平成3年 日本看護連盟顧問
- 平成4年 参議院自由民主党副幹事長
- 平成5年 日本家族計画連盟理事
- 平成7年 労働政務次官
- 平成8年 参議院厚生委員会理事
日本保育推進連盟副会長
- 平成11年 自民党女性局長
- 平成13年 厚生労働副大臣
- 平成16年 法務大臣・内閣府特命担当大臣
(青少年育成及び少子化対策担当)
- 平成17年 法務大臣再任
- 平成20年 自民党女性に関する特別委員会委員長
行政監視委員会理事
自民党広報本部長代理
総務会副会長

資格・免許

- 看護師・助産師・受胎調節実地指導員
(すべて日本・英国)



平成14年

コメント

18年間の南野先生の活躍により、私たち看護師の働く環境はとてもよいものへ変わっていききました。看護を究めた南野先生だからこそみえてきた問題に対し、道を開く活動を続けてこられました。感謝の一言につきます。

報告

1. 都道府県別会議

日時：平成22年11月15日(月) 14:00～17:00

出席：日本看護連盟 竹澤常任幹事
長崎県看護連盟役員・各地区支部長

議題：①第22回参議院議員選挙総括
②組織の方針、活動の在り方について

2. 新入会者研修会

日時：平成22年11月19日(金) 14:00～16:30

出席：124名

テーマ：新人看護師が看護を変える

ねらい：新人看護師がこれまでの看護を受け継ぎ守り発展させるため、そしてさらに働きやすい職場環境を整えるために看護制度の発展にむけて前進することができる。

お詫び

前回、10月発行の連盟だよりにおいて、参議院選挙活動についての県央地区第6支部の原稿をいただきながら編集の過程で落としてしまいました。大変申し訳ありませんでした。ここに掲載し紹介致します。

選挙戦をおえて

県央地区第6支部 支部長 森 良子

「まずは当選おめでとうございます。それも高得票の第4位で」うれしいの一言です。

そして頑張っていた県央第6支部の役員、会員みなさまへお礼申し上げます。

第6支部は新役員決定後から票獲得にむけての意思統一ができていましたので、票数の分担を決め取り組み、目標数の結果を出すことができました。個人的には中央から発せられるメールや各県の仲間のブログによりずいぶん励まされました。

また、本総会での山口名誉会長のげきは今回の選挙戦に大きな影響があったと思います。

「信念こそわが勝利」「本気、やる気、根気」も全国版となり長崎県看護連盟役員の一員としてこの選挙を共に仲間と戦えたことが感謝です。大変ですがその分喜びも大きいことを実感した選挙戦でした。



編集後記

長崎県看護連盟が50周年を迎えたことは本当に嬉しいことだと思います。この“連盟だより”をご覧の会員の皆様の力があっての長崎県看護連盟です。これからの看護連盟の在り方も考えつつ、会員の皆様のご協力をお願いいたします。(本田・馬場・村井・前田・相良・古賀)

